PROGRAM 27

越中の薬売りを支えた強く美しい和紙づくり

桂樹舎和紙文庫

もともと八尾和紙は昔の生活に必需だった障子紙のほか、富山の薬を包む薬袋紙としてや、薬売りが顧客管理用台帳として大切にした懸場帳などに用いられる紙として製造されたものです。丈夫な和紙をつくるため守り続けてきた伝統製法や昔から現代にいたる工芸品に触れ、地域に根差す伝統産業について考えます。

受入人数 100名程度

昔ながらの伝統製法を学び、世界に1枚のオリジナル和紙を作ってみよう

〔見学・体験内容〕

日本の伝統工芸「手すき和紙」製作現場の見学や、手すき和紙製作体験ができる。

Time Schedule

〔見学&体験プラン例〕

所要時間:約1時間30分

製作現場の見学(30分)

▼

紙すき体験(60分※)

※人数による(40人の場合60～90分)

Information

[桂樹舎和紙文庫]

- 住所／富山市八尾町鏡町668−4
- 開館時間／10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 料金／入館料:大人550円(団体440円)、小中学生275円(団体220円)
  紙すき体験:770円
- 見学可能期間／通年(平日のみ)《月曜日(祝日の場合は翌日)、9/5・6、12/29～1/10は休館日》
  【紙すき体験】火曜日～金曜日
- 問合せ／076-455-1184

Access ■北陸自動車道 富山ICから約25分

同内容が体験できる他の施設

受入人数 和紙すき体験/20～30名(60分)

五箇山和紙の里

関連はP11へ

古くから五箇山の産業を支えてきた「五箇山和紙」。歴史資料をはじめ、和紙製品、製造工程などの展示見学と実際の和紙すき体験ができます。

- 住所／南砺市東中江215
- 開館時間／9:00～17:00
- 料金／和紙すき体験:はがき(3枚)1,000円
- 受入可能期間／5月中旬～9月中旬(お盆期間除く)
- 問合せ／0763−66−2223

Access ■東海北陸自動車道 五箇山ICから約25分

学習ポイント LEARNING POINTS

学校での事前学習

- 和紙の起こりについて調べる
- 伝統的工芸品について調べる

現地学習

- 職人による手すき和紙製作現場を見学し、本物の伝統技術を知る
- 実際に伝統的な製法での紙すきを体験する

旅行後の事後学習

- 体験で製作した和紙を実際に使ってみる
- 伝統工芸の技術の保存継承について考える
- 国の伝統的工芸品に指定されている自分たちの地域の工芸品について調べる